

月刊 グラフィックサービス

No.868
2024 3



共立速記印刷株式会社
代表取締役会長
吉岡 新さん

共立速記印刷株式会社
代表取締役社長
笹井 靖夫さん

■ 巻頭企画 事業継承特集

共立速記印刷の事業承継

個別原価管理でスムーズなボタンタッチ
会社と共にジャグラの未来託す



■ 巻頭言

俳句会は楽しい。

—新潟県支部/株大創 平田 大輔

■ 特別企画

スペース21全国キャラバン in 四国

■ 連載

知っててよかった！知的財産あるある
知ってるあなたはジャグラ通 その五

■ NEWSとお知らせ

第59年度・第5回理事会を開催
「IT導入補助金」で生産性向上を支援

CONTENTS

■ 巻頭言

- 1 俳句会は楽しい。
新潟県支部/株大創 平田 大輔

■ 巻頭企画 事業継承特集

- 2 個別原価管理でスムーズなバトンタッチ
会社と共にジャグラの未来託す
共立速記印刷の事業承継

- 6 中小企業の事業承継のアンケート調査
日本政策金融公庫

■ 特別企画

- 24 スペース21全国キャラバン in 四国

■ 連載

- 20 知っててよかった! 知的財産あるある
22 知ってるあなたはジャグラ通 その五

■ NEWSとお知らせ

- 8 ジャグラBBホットニュース
12 ジャグラ作品展募集
17 第59年度・第5回理事会を開催
18 優良従業員表彰募集
19 JFPI REPORTダイジェスト版
26 「IT 導入補助金」で生産性向上を支援
28 業界の動き
ショーワ 新春フェア開催
ジャグラ page2024に出展
地域活性化委員会 中央会補助金・成果普及講習会を開催

- 14 雑学コラム® / 印刷料金 2024 年版を発刊
29 事務局日誌と今後の予定

- 9 富士フィルムグラフィックソリューションズ(株)
10 ホリゾン・ジャパン(株)
11 (株)小森コーポレーション
15 (株)ショーワ
16 東京リスマチック(株)
表4 リョービMHI グラフィックテクノロジー(株)

月刊グラフィックサービス 発行趣意

月刊『グラフィックサービス』は、一般社団法人日本グラフィックサービス工業会会員、関係諸団体およびすべてのステークホルダーの皆様へ、自社の質的向上に役立ち、知恵と勇気を分かち合うことを目指し発行するものです。

本会の存在意義である人間交流スペースを構築し、社会の多様な要請にタイムリーに対応しつつ、共通の経営課題を持つ会員をネットワーク化し、その交流を積極的に支援するとともに小さいことでも有利となる経営施策も発信する情報ターミナルとなることを理想とします。

またその情報発信手段は誌面にとどまらず、環境に応じて多様な発信方法を検討、遂行することを責務とします。

【概要】

発行回数	月1回/年間12回	配布方法	・全会員へ直接郵送
購読料	ジャグラ会員は無償(会費に含む) ・希望企業、団体への有償配布		・ジャグラホームページからのダウンロード

本誌へのご意見・ご要望・記事提供は下記宛お寄せください

Eメール edit@jagra.or.jp 電話 03-3667-2271 ファクス 03-3661-9006

お手紙 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 〒103-0001 (一社)日本グラフィックサービス工業会 宛

俳句会は楽しい。

新潟県支部 / (株)大創

平田 大輔



ある月刊の俳句誌のお仕事をさせていただくようになり、15年程たったでしょうか。

残念ながら、その俳句誌は昨年初めに主宰がご高齢となり終刊となりました。

この俳句誌を携わらせていただく事になった時に俳句会にお誘いをいただきました。

当初、「仕事が多忙だ」というのと、「若いのに俳句なんて」という気持ちもあり、暫くは参加をしておりませんでした。

月に何回となくその俳句誌の打ち合わせ、納品に何うにつれ関係の皆様と親しくなり、俳句会に参加してみたいと思うようになり、参加させていただくことになりました。

今でも覚えておりますが、初めての句会はドタバタで終了したときには脇汗がワイシャツに染み出して酷いことになっておりました(笑)

さて句会ですが、どのように進めるのか当然わかりませんので、隣の方にお聞きしながら進めました。

どのように進行するかというと、
①数日かけて書いてきた俳句を投句用の短冊に書き写し(その句会は7句でした)、担当者にお渡しします。(熟練者はその場で感じたままに即興で俳句を詠まれます)

②ランダムに誰のかわからなくなるように配り直し、その配られた短冊に書かれた俳句をあらかじめ配られている和紙に書き写し、その中から自分が気に入った俳句を自分の選として選んでいきます。つまり、皆さんが書いた俳句をすべて順番に見ていき、7句を選ぶということになります。

③選んだ7句が書かれた紙を中心者にお渡しします。
④中心者がそれぞれ選句した方の名前と選んだ俳句を詠みあげていきます。

詠まれた俳句を作った本人は自分の句だとわかるように、自分の名前を皆さんに伝えます。

ざっとこのような感じです。

当然、初めて参加したわけですから、自分の句が選

ばれるはずがないと思っ

ておりますが、もし選ばれたら、自分の名前を言い忘れてはいけないと、ただただ緊張しておりました。

皆さんの俳句を見させていただくにつれ、俳句の良し悪しすら分からない状態でしたが、自分とはレベルが1000倍くらい違うという事だけは、はっきりわかりました。

正直言うと、すぐさま帰りたい気持ちしかありませんでした。

しかし、なんと2人ほど私の句を選んでいただいた方がおり、何が起きたのかわからず、慌てて自分の名前を発声した事を覚えています。

あれからもう15年も経ってしまいました。

現在は、ご縁がありまして別の句会に参加しております。

しかし俳句は奥が深くやればやるほど、言葉を知らないという事に気づかされます。

文字数は5字・7字・5字で、季語を必ず入れなければなりません。

先輩にお聞きすると、季寄せという季語が書かれた本があるのですが、暇があれば季寄せを読んでないとだめだよと言われます。

私はまだ全然だめなので、分からずに季語がなかったり、季語が2つ入ったりとよく指摘されます。

初めは句会に行くのが苦痛でしたが(下手だからですが)、今は気の知れた方たちと月1回の俳句会を楽しんでおります。

今まで、先輩方が自分の句集を作りたいとよく相談を受け、たくさんの方の句集を作るお手伝いをさせていただきました。

人生を重ねた先輩たちの句集作成という人生最後の仕事に携わらせていただけた事は、私の誇りです。

ペーパーレス時代といいますが、これからも、この俳句集を紙で出版し続け、喜んで頂けるように、なんとか会社を守っていきたいと思います。

最後に、私も人生終盤では1冊くらい句集が出せるようにこれからも精進して参りたいと思います。



共立速記印刷株式会社
代表取締役社長 菅井靖夫

“印刷価格”の疑問が意識を変える

共立速記印刷は、昭和22年に速記事務所として創業しました。やがて速記業務から孔版印刷へと事業を拡大し、和文タイプの時代になると、多くのタイピストを抱える会社として成長してきました。昭和36年に法人化すると翌年には印刷部門を立ち上げ、昭和42年に今の「共立速記印刷株式会社」へと社名を改めました。こうした同社の礎

共立速記印刷の事業承継

個別原価管理でスムーズなバトンタッチ 会社と共にジャグラの未来託す

日本政策金融公庫総合研究所が昨年3月末に発表調査（2023年調査）結果によると、中小企業の予定している企業は57.4%となった。事業継続は譲渡や廃業というのも一つの選択であることは間違なくされるという経営者も少なくありません。ジャセない、継いでもらえないといった声も耳にします。業承継は深刻な問題となりつつあります。そこで今でも先輩から次世代へと円滑なバトンタッチを実現ズクラブ会長）と菅井靖夫社長（SPACE-21代表

した『中小企業の事業承継に関するインターネットうち後継者が決定している企業は10.5%、廃業を様々な方法、選択肢が考えられ、M&Aによる事業いありません。一方で、後継者問題から廃業を余儀グラでもその課題は共通です。ご子息がいても継がジャグラの将来を見据えるうえでも会員の皆様の事回、会社においてもそして、ジャグラの活動においした共立速記印刷株式会社の吉岡新会長（マスター幹事）に事業承継に必要な考え方やそのポイントに

を築いてきたのは、現吉岡新会長のご母堂である創業者の榮子さんでした。

吉岡会長が同社に入社したのは昭和49年、24歳の時です。榮子社長のご子息ということではありませんが、「当初から社長を継ぐことを前提に入社したわけではありませんでした」と言います。

そんな吉岡会長が事業承継に意識を向けたきっかけは“印刷価格”でした。

「入社して数年が経ち、営業として見積もりをしている時に、印刷価格に疑問を感じました。お客様からの要求仕様に基づいて業界標準で示された積算資料・物価資料をもとに計算した価格が自社の印刷価格になっていました。資材の価格や各工程の流れも会社ごとに異なるにも関わらず、一律の価格設定をもとに算出していたからです。それではどこで本当に利益がでているのか不透明ではないかと思っただけです。このままではいけないと思ったのが営業5年目の時でした」と営業活動を通じて印刷原価に着目しました。

さっそく会社で原価管理の必要性を訴え、手作業による原価管理を始めましたが、データ量の多さにコンピュータ（オフコン）を導入し、処理をしていこうということにな

ります。吉岡会長は、印刷業界で原価管理をしている会社は皆無だったため、システムエンジニアの学校で勉強して会社独自の原価管理システムの開発に着手しました。原価管理には社内のあらゆる情報が必要になります。全社員が一丸となってシステムを稼働させていくことは「本当に大変だった」と当時の苦勞をにじませます。

実に3年をかけて“個別原価管理システム”を構築した吉岡会長は「色々大変でしたが、もし自分が将来会社を継ぐのであればこれで楽に経営ができるようになると思ったのが、事業承継を意識したタイミングでした」と原価管理システムの構築が社長になることを決意するきっかけになったと言います。

原価管理システムの構築から約10年後の1991年、吉岡会長が41歳の時に社長に就任しました。1991年という時代はちょうどバブルが崩壊した頃。カラー印刷分野に進出するために社運を賭けて2年前に野田工場を開設したばかり。その打撃は大きく、体調不良等の理由もありましたが、赤字の責任を取るかたちで創業者の榮子社長は一線を退き、吉岡会長にバトンを託しました。

今思えば、バブルが崩壊したばかりの日本経済の混迷を思うと、社長に就任した時は夢中に仕事をしていました。



共立速記印刷株式会社
代表取締役会長 吉岡新

そして3年で黒字体質に転じることができたのは、30代の時に苦勞して作り上げた原価管理システムのお陰でした。

「例えば年間を通じて数百件の仕事を頂いている顧客の1件ごとの利益状況を見ると、一部の案件が残りの仕事の赤字を吸収できるだけの黒字を生むこと等も分かりました。個別原価管理がしっかりできると顧客別で原価が管理できます。また赤字の案件も工程ごとに利益が見えるので、何が赤字の要因なのか、解決する糸口を掴むことができま

共立グループ経営憲章

この社是を永遠のテーマとし業種・業態を超え経営の基本とする

社 是
努力と創造と挑戦

日々たゆまぬ努力をし、/各自の業務に創造力を発揮し、/
 いかなる困難にも積極果敢に挑戦する/

社 訓

- 一、私たちは、/情報産業を通じて社会に貢献します。
- 一、私たちは、/常に得意先に感謝し、/礼節をつくし、/誠意と熱意をもって信頼関係を築きます。
- 一、私たちは、/創意工夫と技術の開発に努め、/会社の永遠を希求し、/働きがいのある企業に育てます。
- 一、私たちは、/社業の繁栄を通じて、/各人およびその家族の豊かな生活の実現をはかります。
- 一、私たちは、/いつも明朗に、/相互の理解と信頼の上になって、/チームワークを発揮し、/その職責を全うします。

す。一時は赤字になりましたが、正確な数字を把握できていたので不安はありませんでした。

案件ごとのコスト、利益を正確に知ることさらに飛躍してきた同社で次に事業承継の話題が上ったのは吉岡会長が55歳の頃でした。55歳と言えば社長として脂がのっている時。事業承継のことは念頭にありませんでした。しかし、役員から「次の社長はどう考えているのか」という質問がしばしば出てくるようになったそうです。

もちろん二人いる娘さんのどちらかが継いでくれたらベターだったという吉岡会長ですが「業績が良ければ会社はどうにでもなると思っていました」と当時の心境を語ります。そんな吉岡会長も60歳を前に、事業承継を考え白羽の矢を立てたのが、笹井社長でした。

当時、大手鉄鋼メーカーに勤めていた笹井社長は30代の頃、義父である吉岡会長から食事に誘われた席で「突然、社長として会社を継ぐ気はないか打診がありました」と話す。当時会社からは管理者として30名近い社員を束ねるポジションへの異動の内示が出たばかりでした。少し考えた末、3年間だけ待ってほしいとお願ひし、その場での回答を避けたと笹井社長。

それから2年半が経過し、もしかしたら忘れていたの

ではと思っていたところ、「もうじき3年になるけどどうだ」としっかりと約束を覚えていた吉岡会長から再度、声がかかります。

笹井社長は、「色々と考えました。このまま今の会社（前職）にいて自分が社長になる機会はあるのか、恐らく60歳を前にどこかのグループ子会社の社長に据えられることはあってもまだ先のこと。それなら一度しかない人生、大変だけとチャレンジしてみよう」と将来的な社長就任を承諾し、約束の3年後に共立速記印刷に入社しました。2010年のことでした。

娘さん本人ではなく、義子の笹井社長に打診したことについて不安はなかったのか尋ねたところ「人となりを見るには十分な時間、彼の人となりを見てきました。その上で彼なら任せられると思いました」と笹井社長への信頼を寄せます。

笹井社長自身が入社してすぐに吉岡会長から命じられたのは日本プリンティングアカデミー（JPA）への入学でした。

「何をするにしても印刷の基礎的なことが分かっていなければ、現場と意思疎通ができないし、設備投資一つとっても正しい判断ができるとは思えません。当時学校長だった濱さんに1年間で印刷の基礎から経営までみっちり学ばせてくださいとお願いして送り出しました」（吉岡会長）

JPAで印刷について学んだ後、会社に入ってから吉岡会長は「会社がどう動いているのか」「社員を統率するための基礎、基本となる社是、社訓」を徹底的に笹井社長に伝えました。

大手企業から中小企業に籍を移した笹井社長でしたが「社是・社訓をはじめ、分かりやすい経営指標が以前から構築されているので困ることはありませんでした。個別原価管理システムのおかげで社内に利益体質の文化が出来上がっていたのも助かりました」とスムーズに社風を受け入れられたと述べます。

経営者の「覚悟と我慢」

JPAでの印刷基礎、そして共立速記印刷のDNAを学んで2015年、吉岡会長から社長職を引き継ぎ、現在に至ります。

前職で管理職として最大で100名近くの社員らを相手にしてきた笹井社長でしたがそれでも「(社長に就任したことで)社員との壁がさらに高く感じられた」と振り返ります。その要因の一つに、数字に対する責任感の変化を挙げます。



「これまでは社長ではなかったもので、最後は社長が決めてくれるという考えがどこかにあったのかもしれない」と心境を吐露します。

内部的な意識変化にとどまらず、外とのかかわりが増えたことも社長になって大きな変化だったと笹井社長。その最たるものが、ジャグラーSPACE-21での活動でした。

SPACE-21の価値についてはその中興で深くかかわった吉岡会長が強く感じていました。

「SPACE-21は、もともと青年組織として全国的なつながりはありましたが、統一した活動らしいものが見受けられませんでした。そこで次のジャグラーを担う人財を育成する、各支部や地協にとどまらず、ジャグラーという全国組織としての意識を醸成する場としてSPACE-21の役割をジャグラー会長期に与えました」

吉岡会長の共をしてジャグラーなどの団体活動に参加していた笹井社長ですが、SPACE-21でさらに経営者としての意識を高めていきました。

一方で吉岡会長は、笹井社長に次を託し、自らはジャグラーの世代交代で課題になっていた退会予備軍の対策に注力します。

「会社と同じで業界活動も引き際が非常に難しいと思います。次世代へと社長職や業界活動を引き継いでいただけるのは大変ありがたいのですが、交代してOBになると一気にジャグラーから離れて退会予備軍になってしまう会員さんが実は多い。その防衛策として、“金を出す、口は出さない”をモットーとするジャグラーマスターズクラブを中村前会長の時に一緒になって立ち上げました」とジャグ

ラーでの活動に触れつつ、「社長交代しても新社長のやることに目についてしまい、つい口を挟んでしまうのは人情ですが、恐らくそうした方はまだやりたいこと、やり残したことがあるのだと思います。全力で社長職を全うして、次へバトンを渡せば達成感で恐らく口を出さうという気が起きないはず」とバトンを渡す側の意識の重要性を語ります。

それを受けて笹井社長も「確かに私の場合は、会長がとくに口を挟まないで、緊張感がありますが任せてもらえることにありがたさを感じています。全く顔も見せないのも困りますから、少し顔を出すくらいの方

が、会社はうまくいくと思っています」と率直な想いを口にすると、「覚悟と我慢が事業承継には必要」と吉岡会長は強調します。

最後に事業承継に必要なことについて尋ねると、「社長は印刷に対する理論的なことを理解し、必要な知識をしっかりと身につけましょう。中途半端だと現場と考えが合わなくなるので、理論武装が必要です。その次に経営の勉強です。そして株式譲渡など具体的な部分は時間をかけて行っていくべきです」と吉岡会長。

笹井社長は「会社と引き継いでくれる先代が元気で明るく、承継したいと思わせる雰囲気づくりが大切だと思います。会社の社是・社訓は会社の指標、やるべきことが詰まっています。それを実践してカタチにしていくのが経営者の役割です。1985年頃に共立速記印刷の社是・社訓が作られましたが、やはり不変で、新しい経営者にとっても原点に戻れるものがあることは大事です。そこにプラスαチャレンジする価値を見いだしていけば会社はうまくいくはず」と会社が作り出してきた風土が事業承継する側にとって重要であることを強調します。

会社の事業承継、そしてマスターズクラブからSPACE-21までのDNAの継承に携わってきた吉岡会長は「事業を承継させたくないと思っていると、子どもに必ずその気持ちが伝わっています。自分の仕事に誇りをもって、経営者自身が生き生きとした姿を見せれば、跡を継ぐ人は自ずとでてくるはず」と改めて事業を引き継ぐ側ではなく、バトンを渡す側の仕事に対する向き合い方が事業承継の可否に大きく影響すると言います。

日本政策金融公庫 中小企業の事業承継のアンケート調査 57.4%が廃業を予定

日本政策金融公庫総合研究所が昨年3月末に公開した『中小企業の事業承継に関するインターネット調査（2023年調査）結果』によると、中小企業のうち後継者が決定している企業は10.5%、廃業を予定している企業は57.4%となった。回答企業の経営者の年齢別にみると、70歳が39.0%、60歳代が26.4%と半数以上を占めており、アンケート調査結果が喫緊課題として数字に表れていることが分かる。ジャブラでは以前に、会員企業のアンケートやインタビューを通じてM&Aの研究を行った。様々な手段、方法が提示される中、この間、それぞれの会員企業が事業継続の道筋を選択してきた。しかし、ここにきてコロナ禍なども経て中小企業を取り巻く環境は大きく変化した。日経平均株価が史上最高高値を付けてはいるが、印刷の適正価格取引の問題やデジタル化の伸長、コンテンツビジネスの多様化により、景気回復感が伝わってこないのも実情だ。将来性が見込めるかどうかは、事業承継の試金石なのはいうまでもない。同調査結果から中小企業が抱える事業承継の課題について考えていきたい。

1. 後継者の決定状況について

中小企業の事業承継の見通しをみると、後継者が決まっており、後継者本人も承諾している「決定企業」は10.5%にとどまり、後継者が決まっていない「未定企業」が20.0%、「廃業予定企業」が57.4%、「時期尚早企業」

が12.0%となった。「廃業予定企業」の割合は、2019年調査の52.6%と比べて4.8ポイント上昇している。

業種別で「決定企業」の割合が「全体」と比べて高いのは「物品賃貸業」（37.7%）、「運輸業」（25.1%）、「建設業」（14.8%）などである。一方、「廃業予定企業」の割合は、「宿泊業」（70.1%）、「専門・技術サービス業、学術研究」（67.3%）、「生活関連サービス業」（65.8%）などで高い。

従業員規模別にみると、「決定企業」の割合は「1～4人」の5.6%が、「5～9人」では16.0%に高まるものの、10人以上のいずれのカテゴリーでも20%台にとどまっている。また、「未定企業」は「20～49人」で48.1%と最も高い割合となった。一方、「廃業予定企業」は「1～4人」では71.8%を占めているものの、「5～9人」では42.8%、「10～19人」では28.5%と、規模が大きくなるほど割合が低下する傾向にある。

「廃業予定企業」は、従業員数「1～4人」の企業が81.8%を占めており、ほかの類型と比べて規模が小さい傾向にある。主な事業所の形態をみると、「廃業予定企業」は「自宅と兼用で生活空間と分かれていない」が39.3%、「自宅と兼用だが生活空間と分かれている」が25.7%、「同じ場所で自宅と別の建物である」が6.1%と、ほかの類型と比べて自宅との近接性が高い。

商品・サービスの独自性をみると、「大いにある」の割合は「決定企業」が24.0%、「廃業予定企業」が16.0%となった。「廃業予定企業」の同業他社と比べた業況は、「良い」が2.2%に対し「悪い」が42.9%であった。現在の売上状況をみても、「増加傾向」が4.7%、「減少傾向」が58.7%となっており、「廃業予定企業」ではほかの類型と比べて業績が劣る企業の割合が高い。

今後5年間の事業の将来性についても、「廃業予定企業」では「あまりない」が46.9%、「まったくない」が

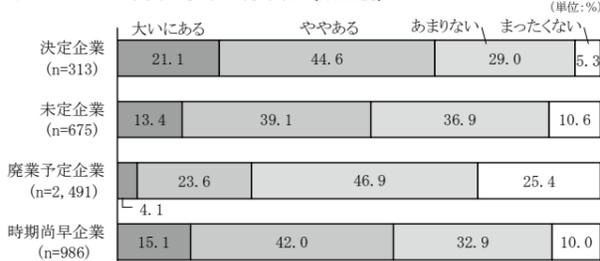
●アンケートの回答による類型化と構成比 (単位:%)

分類	アンケートの回答による定義	2023年調査 (n=4,465)
決定企業	後継者は決まっている (後継者本人も承諾している)	10.5
未定企業 事業承継の意向はあるが、後継者が決まっていない企業	後継者にしたい人はいるが本人が承諾していない	3.3
	後継者にしたい人はいるが本人がまだ若い	4.8
	後継者の候補が複数おり誰を選ぶかまだ決めかねている	2.9
	現在後継者を探している	7.7
	その他	1.3
廃業予定企業	自分の代で事業をやめるつもりである	57.4
時期尚早企業	自分がまだ若いので今は決める必要がない	12.0

資料：日本政策金融公庫総合研究所「中小企業の事業承継に関するインターネット調査（2023年調査）」。

(注) 1 ウェイトづけ後の集計結果 (以下同じ)。
2 nは回答数 (以下同じ)。
3 構成比は四捨五入して表示しているため、合計が100%にならない場合がある (以下同じ)。

●おおよそ5年後の事業の将来性 (類型別) (単位:%)



25.4%と、将来性が見込めないとする企業の割合がほかの類型よりも高い。

現在の年齢別の類型分布をみると、「39歳以下」では「時期尚早企業」が55.6%と、最も高い割合となっている。「40歳代」では「廃業予定企業」が40.7%と最も割合が高くなり、「50歳代」（50.5%）、「60歳代」（61.2%）、「70歳以上」（65.0%）と、さらに割合が高まる。また、「60歳代」で21.4%、「70歳以上」で19.4%の「未定企業」が存在していることも注目される。

「廃業予定企業」では「60歳代」が28.1%、「70歳以上」が44.1%と、高齢の経営者の割合が高い。

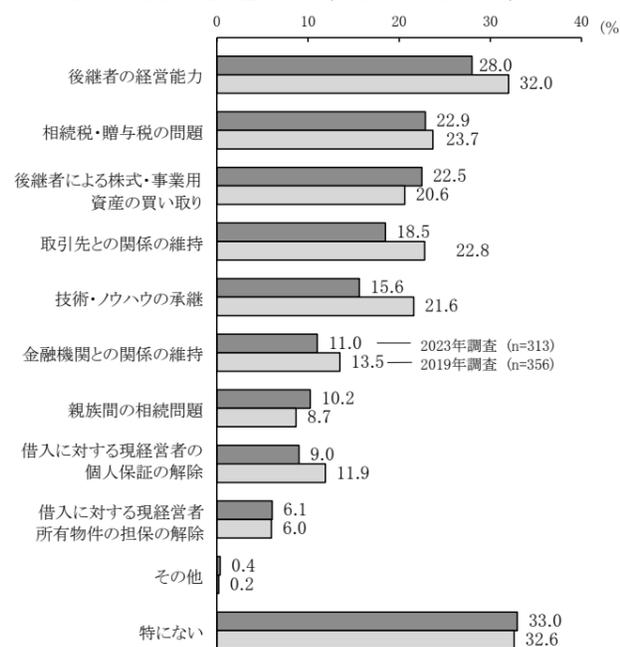
経営者の創業者との関係性をみると、「廃業予定企業」では「創業者本人」が77.4%を占めているのが特徴的である。

2. 後継者「決定企業」について

「決定企業」の後継者候補をみると、「長男」が33.7%、「役員・従業員（親族以外）」が19.1%、「その他の親族」が10.7%、「社外の人（親族以外）」が10.4%などとなった。2019年調査と比べると、「長男」の割合が低下し、「役員・従業員（親族以外）」「その他の親族」「社外の人（親族以外）」の割合が上昇するなど、親族以外を後継者候補とする企業が増えている。

事業承継の際に問題になりそうなことは、「後継者の経営能力」が28.0%、「相続税・贈与税の問題」が22.9%、「後継者による株式・事業用資産の買い取り」が22.5%と、多岐にわたっている。「特になし」との回答も33.0%あるものの、7割近くの企業が問題になりそうなことを抱えて

●引き継いでほしい経営資源 (未定企業、複数回答)



(注) 事業売却や経営資源の一部譲渡を含む事業承継について尋ねた。

いることがわかる。

3. 「未定企業」について

後継者候補がいる「未定企業」の後継者候補をみると、「長男」が33.5%、「役員・従業員（親族以外）」が28.6%、「社外の人（親族以外）」が12.8%などとなった。「決定企業」と比べると、「役員・従業員（親族以外）」「社外の人（親族以外）」の割合が高い。2019年調査と比較すると、「長男」「社外の人（親族以外）」の割合が低下する一方、「役員・従業員（親族以外）」の割合が上昇している。

「未定企業」の事業売却に関する意識をみると、「現在売却を具体的に検討している」が2.9%、「事業を継続させるためなら売却してもよい」が39.4%と、約4割の企業で事業売却の可能性があることがうかがえる。引き継いでほしい経営資源は、「事業全体」（53.4%）のほか、「従業員」（27.0%）、「販売先・受注先（企業・一般消費者など）」（17.3%）などが挙げられている。「引き継いでほしい経営資源はない」は23.7%で、4分の3の企業が何らかの経営資源を引き継いでほしいと考えている。

4. 「廃業予定企業」について

「廃業予定企業」に廃業理由について尋ねたところ、「そもそも誰かに継いでほしいと思っていない」が45.2%と最も高い割合となっている。一方、「子どもがいない」「子どもに継ぐ意思がない」「適当な後継者が見つからない」を合わせた後継者難による廃業も、28.4%みられた。

そもそも誰かに継いでほしいと思っていない理由について詳しくみると、「経営者個人の感性・個性が欠かれない事業だから」（24.4%）、「自分の趣味で始めた事業だから」（23.8%）、「経営者個人の人脈が欠かれない事業だから」（16.6%）など、経営者の属人的な資源や能力に関連する理由を回答する企業の割合が高い。

「廃業予定企業」の廃業予定年齢をみると、「80歳以上」が24.8%、「75～79歳」が28.9%、「70～74歳」が21.4%で、70歳以上が7割を超えており、多くの経営者がかなり高齢になるまで事業を継続したいと考えていることがわかる。

廃業予定時期は、「5年以内」が49.6%、「6～10年後」が27.7%となっており、10年以内に8割近くが廃業する予定である。

資料：日本政策金融公庫総合研究所「中小企業の事業承継に関するインターネット調査（2023年調査）」

2024年3月



HOT NEWS

おすすめ番組情報

広報委員会
が選ぶ!

いまずぐチェック!

ジャグラ BB |



団体の枠を越えて
繋がる若い力

カテゴリー ニュース ジャグラ情報

SPACE-21 全国協議会九州大会 in 熊本

2023年10月7日に熊本で開催されたSPACE-21全国協議会。“熊本発!つながりをカタチに”をテーマに開かれたこの大会には、SPACE-21メンバーだけでなく、全国青年印刷人協議会、全国印刷緑友会メンバーも多数出席し、総勢92名が参加。プリントオン(株)の寛清隆専務と有西村謄写堂の西村啓会長の対談、グループディスカッション、懇親会の3部構成で交流を図りました。



study 生成AIは、ここまで浸透している!
カテゴリー 教育と技術 DX・総務経理・その他



ビジネスパーソンのためのテクノロジー基礎講座
Vol.6 「印刷業界におけるAI展望」
広告の制作現場では、生成AIを活用した広告制作が高速化しています。さらに、自治体や企業のビジネスパーソンにも利用が広がっている生成AI。印刷業界への影響と今後の展望を理解しておきましょう。



study 地球温暖化防止対策は全ての人の責任
カテゴリー 教育と技術 DX・総務経理・その他



ビジネスパーソンのためのテクノロジー基礎講座
Vol.7 「環境印刷と資材」
第1部では、環境印刷の必要性とセルローズナノファイバーについて印刷業界の視点で解説しています。印刷会社ができることを再確認していきましょう。



FUJIFILM
Value from Innovation

お客さま一社一社の 変革ストーリーを、 共に紡ぐ。

生産環境のムダをなくすことで、経営資源に余力を生み出す。その余力を原資として、成長に向けた新たな一歩を踏み出す。富士フイルムは、「最適生産」を軸としたお客さまの企業変革を共に考え、共に推進し、「持続的な企業成長」へと導きます。



FUJIFILM 最適生産ソリューション

■最適生産ソリューションの詳しい情報はこちらから

FFGS 最適生産ソリューション



富士フイルムグラフィックソリューションズ株式会社

富士フイルム ビジネス イノベーションジャパン株式会社

Horizon

Change the focus

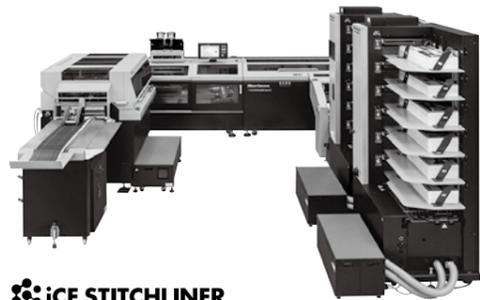
Connected をキーワードに製本工程の自動化を実現します。

iCE Series は、お客様へさらなる高付加価値を提供することを目指した次世代型商品群です。ユーザーフレンドリーなインターフェースで作業性を向上させ、安定した生産性と自動化を高次元で追求しています。さらに、ワークフローシステム「iCE LiNK」との連携により、先進的な作業環境を構築できます。

ペラ丁合鞍掛け中綴じ製本システム iCE STITCHLINER Mark IV

自動化と製本品質の向上を追求

多品種少量生産に対応するために、全自動化することでセット替えの時間を極限まで短縮しました。筋入れ機構や突き揃え機構、折り部、針金の長さ調整、断裁前の位置調整など、各工程における高精度な調整と加工技術で高品質な製本を実現します。



iCE STITCHLINER

無線綴じ機 BQ-500

作業効率と製本品質が向上

セット替えの高速化により、小ロットや1冊ずつ厚さが異なるバリエーション製本時にも高い生産性を実現します。また、ホリゾン独自のデリバリー機構により、厚い自身のPUR製本においても背にゆがみのない高精度な仕上がりを実現します。



iCE BINDER

紙折機 AFV-566FKT / AFV-564FKT

生産性と折り品質が向上

ナイフ折り時の最適な給紙間隔をリアルタイムに計測演算し、最高の処理速度を引き出すなど、ナイフストッパーの脱着作業を含めた様々な設定を自動化し、幅広いアプリケーションに迅速に対応します。



iCE FOLDER

三方断裁機 HT-300

高生産性と自動化を追求

一枚の断裁刃で天地、小口の三辺を断裁します。断裁前と断裁後の寸法をタッチパネルに入力することで設定が完了し、最高300サイクル/時で高生産性を実現します。冊子厚さの自動測定や、断裁角度の微調整など、自動調整機能により、精度の高い仕上がりを実現します。



iCE TRIMMER

fb.me/Horizon.sns

ホリゾン・ジャパン株式会社 www.horizon.co.jp

本社 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-4-5 東神田堀商ビル5F TEL.03-3863-5361(代) FAX.03-3863-5360
 東京支社 〒132-8562 東京都江戸川区松江5丁目10-9 TEL.03-3652-7631(代) FAX.03-3652-8083
 京都支社 〒601-8206 京都府京都市南区久世大数町510 TEL.075-933-3060(代) FAX.075-933-4025
 福岡営業所 〒813-0034 福岡県福岡市東区多の津4-12-17 TEL.092-626-8111(代) FAX.092-626-8112
 仙台サービスセンター 〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東1-7-31 TEL.022-782-2821(代) FAX.022-782-3068

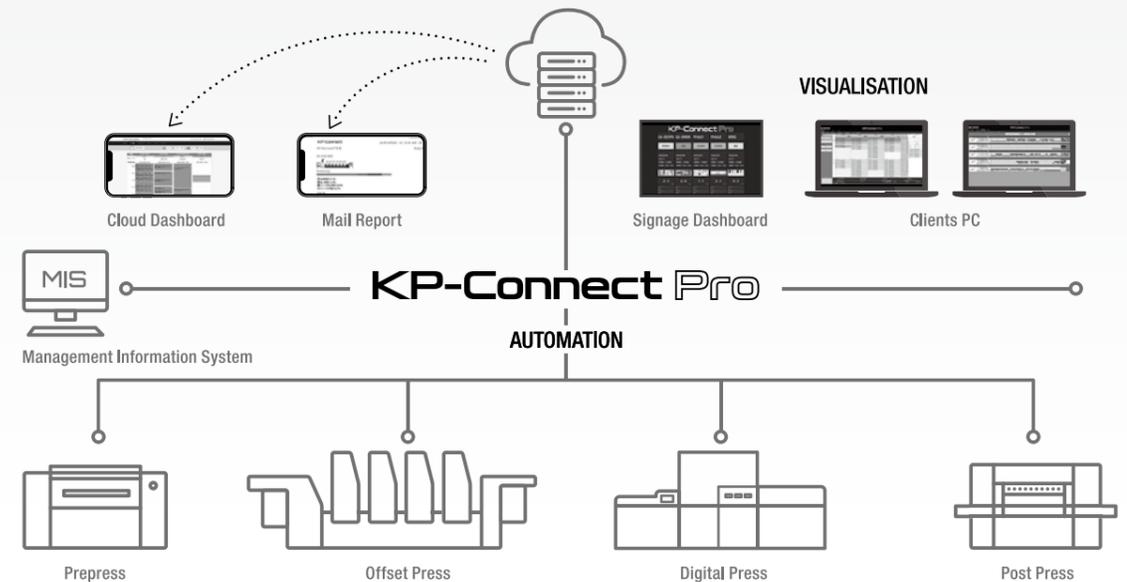
100TH

KOMORI



CONNECTED AUTOMATION

— 印刷DX 新しい世界への扉 —



「データの一元化」「見える化」「整流化」「自動化」



『KP-コネクトプロを軸に省人化・省力化技術を搭載した機械や生産システムをつなぐことで、お客様の生産性を極大化していく』概念です。オープンな環境を提供することで、業界の様々なメーカー・ベンダーと連携、共創していきます。高度な自動化機能を搭載した最新機リスロンGX/Gアドバンスモデルとの併用で、さらなる効果を発揮します。

MADE IN JAPAN WITH STATE-OF-THE-ART TECHNOLOGY

株式会社 小森コーポレーション
 〒130-8666 東京都墨田区吾妻橋 3-11-1 TEL.03-5608-7806
www.komori.com

コネクテッド・オートメーション
 についての詳細はこちら



<https://www.komorisolutions.com/ca/ja/>

大臣賞受賞 4 作品に

賞金 3 万円が

授与されます

4 部門

募集しています

十今年もやります、名刺フェスティバル

ジャグラ作品展



応募期間

2023.12.1[金]~2024.3.31[日]



業務用印刷部門

研究報告書、文集、記念誌、機関誌、便覧、手引書、名簿、会議資料、大会等資料、会報、年報、リスト、パーソナルユース(年賀状、レターヘッド、ハガキ、名刺)など。

開催要項

審査対象

作品は 2023 年中に完成したものに限り(2023 年 1 月 1 日~12 月 31 日までの作品)

審査方法

審査基準に基づいて採点し、順位を決定
◆企画 ◆編集 ◆造本設計 ◆文字組版 ◆仕上げ
◆開発・開拓の狙い

応募方法

応募作品に申込書を添えて、本部までご送付ください。申込書はジャグラHPよりダウンロードできます。

宣伝印刷部門

カタログ、ポスター、ダイレクトメール、リーフレット、チラシ、POP、パンフレット、カレンダー、PR 誌、各種案内書など。



優秀作品には大臣賞を授与!!

表彰式は文化典広島大会にて

「ジャグラ作品展」とは
日本グラフィックサービス工業会の技術力向上やマーケットへのアピールを目的とするもので、ジャグラの前身である日本軽印刷工業会が、社団法人を設立した1966年より開催されている歴史あるコンクールです。

Table with 2 columns: 自知分たちのもこの作り

出版印刷部門

単行本、文芸書、教科書、学術参考書、専門書、法規集、写真集、雑誌、ハンドブック、自費出版、定期刊行物、復刻版など。



芸術に触れる

開発・開拓部門

新商品、新機器・新手法・新技法による作品、販促成功例、活路開拓・需要拡大商品、未来ビジネスへの足掛かり商品、自社企画による印刷物、印刷物以外の商品、間接的に生産された印刷物、ソフト・サービス CD-ROM 等のマルチメディア。

未来へチャレンジ!



ジャグラ作品展出品申込書

No.

事務局記入欄

※ 発注者に出品の了解を得て、ジャグラ作品展に申し込みます

申込日 年 月 日

Form with fields: 会社名, 住所, E-mail, 担当者, 支部, 電話/FAX

事務局キリトリ線

作品名 (記入必須)

No.

事務局記入欄

[1] 審査にあたって特に評価して欲しい項目に○印をしてください

【記入必須】

- A. 企画内容, B. 編集, C. 造本設計, D. 文字組版, E. 印刷の仕上がり, F. 開発・開拓, G. その他

[2] 希望する部門に○印をしてください (希望通りにならない場合もあります) 【記入必須】

Table with 4 columns: 出版印刷物部門, 宣伝印刷物部門, 業務用印刷物部門, 開発・開拓部門

↓ 以下任意記入事項 ↓

□ 製作工程についてお教えてください (書ける場合にご記入及び○をつけて下さい) 【任意】

Table with 3 columns: 印刷・製作方法, 後加工, 対象者

□ アピールポイント (自由にご記入下さい) 【任意】

Blank lines for additional information



雑学コラム⑮

野口聡の

47 都道府県のお話 (その 13: 福島県)

ジャブラ会報をご覧の皆様、こん〇〇は。ジャブラ東京・東
グラ文京支部のアクティブ・野口です。

さて、今月は福島県を取り上げようと思います。

印刷業界にとっても関心事の一つであろう(?)新札の発行
まであと4か月となりました。

ところで皆さんは日本のお札(いわゆる日本銀行券)の肖像
画のモデルを何人ほど知っていますか? 私の最初の記憶は岩倉
具視の500円札と伊藤博文の1000円札辺りですかね。で、
この肖像画の人物一覧の中で唯一の福島県出身者(さすがに神
話の方は知らんけど)と云えば誰でしょうか?

それが今回の話の主役、野口英世その人です。ここで
「お、この文章書いてるのも野口じゃん、偶然だね」と思った
あなた、中々目の付け所がシャープです。ま、この辺りは後ほど。

皆さんにとって野口英世と云うとどんなイメージでしょう。
幼いころに火傷で片手が使えなくなり、その後手術で段々と
治っていく状況で医師を目指し、研究者になった後は梅毒の研
究で世界的権威となり、ノーベル医学賞の候補者に選ばれ、最
後は当時アフリカで猛威を振るっていた黄熱病の駆逐の為に現
地に赴いたが最後は自身も黄熱病に罹って亡くなってしまっ
た。こんなところでしょうか。

ではここで皆さんがあまり知らないであろう野口英世のお話
を何点が書いてみます。

1:野口「英世」になったきっかけは1冊の書籍だった。

これは割と知られた話ですが、元々野口の本名は「清作」で
した。医師を目指し上京した野口が無事に医者になり、帰省し
た時の事。実家にあった「当世書生気質」という本を手にとっ
た際、その本に描かれていた「野々口精作」という自堕落な人
物と自分の名前がほぼ同じだった事に野口は衝撃を受け「英世」
と改名したと云われています。

因みにこの本の著者である坪内逍遙は「名前が似ているのは
全くの偶然だが、自分の小説が野口君の奮起のきっかけになっ
たのなら光栄だ」と後に述べています。

2:野口英世の銅像、国内にもあるけどその場所は意外にも。
野口英世が黄熱病で亡くなったガーナの首都・アグラヤ研究
で向かったメキシコのメリダに英世の銅像があります。

国内でも会津や大阪・箕面にも銅像が建てられています。で
も、我々(今回は東グラ)に若干関係のあるある場所にも銅像
が建てられているのはご存知でしょうか? その場所とは上野
公園です。

ではなぜここにあるのでしょうか、昭和22年に北里研究所
や日本医師会が中心となって野口英世の銅像をつくることにな
りました。完成した銅像は当初皇居前や日比谷公園に設置され
る希望が出されていましたが、どちらも許可が下りずここ上野
公園の大噴水横の木立の中に設置されることに落ち着いたとい
うことです。

でもその結果近くにある国立科学博物館が見える場所に建っ
たという事なので医学(科学)者としては相応しい場所だった
のかもかもしれませんね。

3:野口聡と野口英世のビミョーな関係。

先ほど「お、この文章書いてるのも野口じゃん、偶然だね」
と思った皆さん、と書きましたが実は私と野口英世には本当に
希薄ながら若干の関りがあります。それは英世と私の父方の祖
父との関係です。

私の祖父と英世は尋常小学校時代の学友だったそうで、幼い
ころに撮ったツーショットの写真が残されています。

この写真は猪苗代湖の湖畔に建つ記念館に残されておりま
す。後年私の父がその写真を記念に撮ろう(実家には残って無
い)として警備の人に怒られた、という小ネタもあります。後
に祖父は日本海軍の軍人になるのですが、祖父が乗船していた
軍艦で英世が再渡米したという話もあるそうです。

我々の世代だと大概の方は野口英世の伝記に触れていますよ
ね。こんな側面もあると知っていただくとより親しみが湧くの
ではないでしょうか。今回はこの辺で終わりにしたいと思います。
最後に今月の問題です。

問題:県内に位置する木の芽峠を境にして県域が「嶺南」と「嶺
北」に分けられる日本の県はどこでしょうか?

(正解は29ページ)



SHOWA

ユーザーサポート こそ商品

株式会社ショーワは、謄写版および付属品の販売と謄写印刷業の < 昭和謄写堂 >
として、昭和3年に幅弓之助が創業しました。

創業者の幅弓之助は「良いものを売り、売ったものには責任を持つ事」に頑固な
ままでにこだわり続け、そのこだわりは創業から100年に向けて今なおショーワの
社員一人一人にDNAとして脈々と受け継がれています。

長きに渡り、多くの取引先企業様より厚い信頼を寄せて頂けるのも、企業理念に
もあります様にユーザーサポートという目に見えない、形のない「商品」だから
こそ、付加価値を創造し続け、溢れる情報、市場状況を正確に分析・判断しうる
知識とユーザーサイドで常に物事を考える「誠意」が評価して頂けているものと
考えています。

今後も常に「ユーザーサポートこそ商品」の企業理念、創業者・幅弓之助の熱い
志を胸に社員一同業務につとめていく所存です。

21世紀のグラフィックアーツを共に考えるショーワユーザー会

コラボレーション&リサーチ

ユーザー会で密に情報交換

SHOWA会

年間活動

- 研修会 ○工場見学 ○総会・幹事会
- 会報・メールマガジンの発行 ○有志グループ活動

問い合わせ、入会お申込みは事務局まで

SHOWA会事務局 TEL.03-3263-6141 FAX.03-3263-6149



株式会社

プリントメディアの総合商社

http://www.showa-corp.jp/

〒101-0065 東京都千代田区西神田2丁目7番8号 TEL 03-3263-6141(代) FAX 03-3263-6149

新刊 経済調査会 印刷料金 2024年版を発売

クリエイティブワークの見積り事例も

一般財団法人経済調査会はこのほど、「積算資料 印刷料金 2024年版」を発売しま
した。

同書は各種印刷物の見積もり・積算のために、工程に沿った料金と算出方法を掲載し
ています。仕様書作成に必要な情報も充実しています。

2024年版の特集は「官公需印刷契約における知的財産権(著作権)の適切な取扱い
について」「クリエイティブワークの見積り事例調査結果」の2本立てです。

クリエイティブワークの見積り事例調査は、2023年8月から9月にかけて、クリ
エイティブ企業(主に広告宣伝やプロモーションに関わるメディアの編集デザインを主
業務とする企業)224社、印刷企業(主に印刷物の編集デザインの編集デザインおよ
び製造を主業務とする企業)678社に対して実施。プロジェクト案件の業務仕様を提
示し、回答欄に見積り内容・金額を掲載してもらった結果をまとめています。

購入は、ホームページ(Bookけんせつ Plaza、https://book.zai-keicho.or.jp/
index.php)から。



商 品 名/積算資料印刷料金
仕 様/本文340頁、B5判
価 格/3,773円(税込)
編 集・発 行/一般財団法人経済調査会

第59年度・第5回理事会を開催

TOKYO QUALITY.

すべてのSPコミュニケーションに最良の品質を。



ジャグラは令和6年1月10日、ニッケイビルで、第5回理事会を開催しました。以下、理事会議事をご報告します。

3月	3日	月	正副会長会議
	21日	金	理事会

《検討の経緯》

議場に質問・意見を諮ったところ、他に発言はなく満場一致で承認した。

第一号議案 役員の派遣・スケジュールに関する件

省略（巻末スケジュールをご参照ください）

第二号議案 事業と役割分担の件

- 生産性向上委員会 小山 直仁様（コニカミノルタジャパン）
→内田 剛様（コニカミノルタジャパン）
- MIS 研究委員会 小山 直仁様（コニカミノルタジャパン）
→内田 剛様（コニカミノルタジャパン）
戸来 一裕様（岩手）
- 地域活性化委員会 滝下晴太郎様（モリサワ）
→加藤 秀則様（モリサワ）

《検討の経緯》

議場に質問・意見を諮ったところ、他に発言はなく満場一致で承認した。

第三号議案 年間スケジュールの件

〔提案内容〕

24年度正副会長会議、理事会、委員長会議案			
4月	26日	金	正副会長会議①
5月	9日	木	理事会（決算）
6月	13日	木	正副会長会議②
	22日	土	第1回理事会
7月	4日	木	正副会長会議③
	10日	水	理事会
	19日	金	委員長会議
8月	29日	木	委員長会議
9月	11日	水	理事会
10月	17日	木	委員長会議
	24日	木	正副会長会議
11月	8日	金	理事会
	9日	土	
12月	3日	火	正副会長会議
1月	8日	水	理事会
2月	4日	火	委員長会議

第四号議案 役員推薦委員会中間報告

役員推薦委員会の原田委員長より中間報告を行った。5月の理事会で最終報告を行い、6月22日の総会で決定する。

第五号議案 その他に関する件

1. 石川県能登半島地震の件

理事会に先立ち、正副会長会議による危機管理委員会が開かれ、対応を検討した。

○被害状況

- ・スガノ印刷（珠洲市）自宅倒壊、会社被害甚大、避難所にて滞在中、人的被害無し。
→災害見舞金 10万円
- ・黒氏印刷所（鹿島郡中能登町）会社の被害大、道路が通行止めのため詳細確認できず、人的被害なし。
→災害見舞金 7万円
- ・斉藤印刷出版（七尾市）会社の被害大、金沢市内に避難中、人的被害なし。
→災害見舞金 5万円

2. Page2024 出展の件

ジャグラで出展する。ジャグラコンパスを発表する。また、現在開発中の広報アプリの紹介を行う。

2月15日にはPageの会場で成果報告会を実施する。

3. 日印産連の報告

日印産連が主導し「グランドデザインプロジェクト」がスタートした。ジャグラからは田中専務、笹井理事が参加している。2030年に向けた印刷業の将来ビジョンを描くというもの。

4. セミナー告知

東京リスマチック株式会社

なんでも相談窓口
プリントデスク ☎ 0120-269-132
平日（月～金）9:00～17:00 E-mail: support@lithmatic.co.jp



Lithmatic
http://www.lithmatic.net

5. 作品展の件

機関誌1月号に「作品展あるある」と題して、作品展に応募する際の疑問をQ & A方式でまとめた。理事会に出席したすべての理事に目標と達成に向けての取り組みを聞いた。結果、支部会員数を超える作品が集まる見込みである。

6. 賛助会員の件

(株)桜井グラフィックシステムズより退会届が出たので、受理した旨報告を行った。

7. 会費徴収の件

令和5年の総会で承認されたため、会費請求を年4回から年2回に変更した。しかし、未だに年4回という支部があり、事務処理が煩雑になっている。1年間の猶予期間を設けていたが、すべての支部で年2回徴収にしたい。(徴収時期について検討する)

8. 広島大会の件

ゴルフ大会の会場を「周南カントリークラブ」に変更した。参加費は22,000円で予算組みしている。

| お | 知 | ら | せ |

優良従業員表彰の申請を受付中です

ジャグラ文化典において実施する優良従業員表彰の申請を受付中です。申請には所属支部長の承認が必要ですので、下記をご覧のうえお手続きください。(申請書は本部より支部長に配布済み)

表彰基準

- ①その従業員が優秀で、他の従業員の模範になる場合
- ②その従業員が優秀な実績を残した場合
- ③その他、その従業員を表彰するにふさわしい場合

その従業員が上記のいずれかに当てはまると代表者が判断した場合に申請できます。

※従業員とは「労働組合法第3条」による労働者（賃金その他これに準ずる収入で生活するもの）であって法人の場合は社員から役員になった者であっても、出資金がその法人の資本総額の十分の一以下であれば従業員とします。当該事業所に従事している事業主の配偶者は除外します。

経費の負担

- ①優良従業員に授与する表彰状・記念品はジャグラが用意しますが、経費は事業主の負担となります。費用は概ね1万円見当です。後日、請求書を送付しますので、振り込みをお願いします。
- ②優良従業員が表彰式に出席するための一切の経費は、表彰の趣旨を生かすため、事業主の負担となります。

支部長の承認および本部への提出

- ①申請書は支部長が受け取り、支部役員でこれを検討、適正の場合のみ、該当欄に記名押印し、一括して本部へ提出してください。
- ②本部締め切りは4月18日必着です。(5月9日の理事会に間に合わせるため)

表彰決定の通知

- ①各支部長より提出のあった申請書は、本部理事会の承認を得たうえで、ジャグラより各事業所に書面で通知します。

表彰式

- ①ジャグラ文化典広島大会式典(6月22日、リーガロイヤルホテル広島)で優良従業員へ表彰状および記念品を授与します。
 - ②優良従業員の懇親会への招待はありません。懇親会出席を希望される場合は、全額事業主負担となりますので実行委員会宛に別途申し込みしてください。
- ※表彰式欠席者へは、後日、賞状および記念品を送付いたします。(会社の住所宛)

◆ 問い合わせ ◆

詳細は右記事務局へお問い合わせください。 ジャグラ事務局・岩崎 電話 03-3667-2271

日印産連の活動ピックアップをご紹介します。

JFPIREPORT冊子にはさらに様々な活動を掲載しておりますのでぜひ併せてお読みください。

JFPIREPORT

ダイジェスト版

各タイトル横の番号ごとに、WEBページで詳細がご覧いただけます。右記のQRコードよりご確認ください。



2024年「新年交歓会」 「未来を切り開く新しい印刷産業へ向けて」

(2024年1月10日: The Okura Tokyo)

1月10日(水)、東京・虎ノ門の「The Okura Tokyo・平安の間」に、478名が参集しての華やかな新春の宴となりました。今年には人数制限を行わず、多くの方にご参加いただき、従来の歓談をメインとした開催で、活気に満ちた会となりました。

●詳細はQRコードページにて以下の番号よりご参照ください。

【1】2024年 新年交歓会



北島会長挨拶



会場風景

地方創生事業好事例紹介 **じばぽうむし** じゃばにうむレビュー [2]

社員の自由な発想を大切に地域活性化をリードする「お客さまの課題解決パートナー」株式会社明新社(奈良県)

- 印刷会社が新作「かき氷」を共同開発!?
- 「絵図屋」の成功から企画提案型の事業展開へ
- 「地域・エリアの課題解決パートナー」へ



「絵図屋」



YAMATO超人ナインジャー

知ってよかった! 知財あるある [3]

～著作権は誰に?

商品写真を使う際の注意点～

提案資料などを作る際の、写真にまつわる著作権について解説します。

「印刷って、何?」が、楽しくわかる
ふりんとびあ

●その他の活動などについてもWEBページに掲載、更新しておりますので、ぜひご覧ください。【7】

印刷用語集

聞きなれない専門用語も多い印刷用語をカテゴリ別や50音で探すことができ、わかりやすく解説しています。

印刷産業 Monthly Report

各種統計データなどを基に、印刷業の動向、国内経済動向から得意先市場の動向、及び印刷に関わる資機材業の動向を毎月末に公表しています。

出版物のご案内

印刷会社のみなさんに役立つ情報を掲載した小冊子をご購入いただけます。

「第75回カレンダー展」審査会・展示会

2023年12月5日(火)6日(水)の両日、日本印刷会館2階会議室において審査会を行いました。

応募点数は439点(前年455点) 入賞点数は69点(前年66点)となり、上位3賞の表彰式は2024年1月22日(月)に印刷会館で行われました。



カレンダー展本審査会・記念撮影

●詳細はQRコードページにて以下の番号よりご参照ください。

【4】第75回全国カレンダー展審査会・展示会

VOC排出抑制セミナー開催

2023年11月16日(木)に日本印刷会館2階会議室において「VOC排出抑制セミナー」を開催しました。

今年度は3年振りにリアルにて開催し、印刷業界に関連した4テーマを講演いただきました。

セミナーの動画を日印産連のHPで3月末まで公開していますので、ぜひご覧ください。

●詳細はQRコードページにて以下の番号よりご参照ください。

【5】2023年度「中小企業のためのVOC排出抑制セミナー」動画配信

2023GP環境大賞等表彰式

2023年10月18日(水)、DNP左内町ビル・ホールにおいて、「2023GP環境大賞等表彰式」並びに「印刷と私」トークショーを開催しました。

今回は、受賞企業・団体の代表者の他、GP推進部会・ワーキンググループ委員、報道関係者に加えて、小山薫堂グリーンプリンティングPR大使がDJを務めているラジオ番組『FUTURE SCAPE』のリスナー及び「印刷と私」トークショー、ゲストの津田淳子氏が編集長を務めている『デザインひきだし』読者を招待して、合計約170名が参加しました。

●詳細はQRコードページにて以下の番号よりご参照ください。

【6】2023GP環境大賞等表彰式



GP環境大賞・準大賞・特別賞表彰



「印刷と私」トークショー



こんな時「あなたならどうする♪」 近森謄写堂(高知県支部)の場合



軽オフセットを残すか、オンデマンド機に切り替えるか

チカモリさん

2022年ごろより弊社(近森謄写堂)で現役にて稼働していた軽オフセット機(リョービのA3縦通し片面単色機/10年ほど使用)の調子が悪い状態でした。騙し騙し職人さんが使ってくれていましたが、2023年春先、いよいよどうにもならない状態にまでなりました。この現状はまずいと感じ、調子の悪いこの間に東京や大阪にある各メーカー様へ足を運び、軽オフセット機の代わりにオンデマンド機はないか探していました。(具体的に、特色に近い色が再現できて職人さんがいなくても印刷ができるようにならないか。外注も視野に入れていましたが、スピード重視のため断念することに)そこで仕事でもジャグラでも親交のある何でも知っている西村謄写堂の西村会長に相談をしました。

うち(西村謄写堂)と一緒に軽オフやらんかえ? うちの2色機の軽オフ使わんかえ? おたく(近森謄写堂)の職人さんとうちの会社の従業員さんと一緒に交流したらどうかえ?



ニシムラさん



という提案をいただきました

私自身はありがたい提案で、すぐに会社へ電話を職人さんに伝えました。「弊社もこれから西村謄写堂の皆さんと交流が持て従業員さんの視野も経験も知識も高まってくる」と高揚感に満ちていました。職人さんも快く了解をしてくれ、翌日に西村さんに「2色機を使わせてください」と申し出ました。ほどなく3日後に機械が弊社に到着して(西村さんのところで置き場所に困っていた機械だったがどうしてもこの機械でやらないといけないう仕事があった。弊社でも軽オフが手に入り尚且つ2色機が使えるようになり好機と捉えた)近森謄写堂と西村謄写堂の軽オフ存続プロジェクトが開始となりました。

数日、両社で機械操作を含め交流が進むにつれ、弊社の職人さんの様子が変わってきました。私に「2色機をよう使わん」と告げてきました。「実はよ、体調も思いのほか悪かってよう刷らん」「それでもう仕事も最近しんどくなってきだしたき辞めたいがよ」と退職の申し出がありました。私自身青天の霹靂でしたが、そのまま受け入れ、その旨を西村会長に連絡をしました。「すべて純一郎さんが思うようにしたらえい」との返答でしたので、2色機を断念しオンデマンド機を導入することを決断しました。その中でコニカミノルタのC83hcが特色(DIC)に近い色を再現できるためこちらを採用するに至りました。



仕事を辞めたいがよ



軽オフ機は素晴らしい機械です。協業で無くしてはならない事業を進めていくことも重要です。弊社の場合は職人さんの退職により協業の道が絶たれましたが、今後、職人さんがいなくなる印刷会社も弊社同様このようなことが起きることが多いに予想できます。職人さんがいなくても会社が存続できるようにするためにはオンデマンド機の必要性も視野に入れておかなければならないと考えています。印刷会社の在り方と考え方も変えていかなければならない時代だと痛感した出来事でした。その中で西村会長とトライした軽オフ存続の道としての“協業”も一つの手なのではないかと考えます。



オンデマンド機

協業

…… その後 ……

現状、軽オフからオンデマンド機へ替わり約半年が過ぎましたが、稼働については軽オフで刷っていた特色の封筒、特色のペラ類は若干の制約(窓付き封筒、スティックのり、テープ付きは一部不可)はありますが問題なくプリントできています。

人員配置については、モノクロオンデマンド機と同メーカーのため併用して双方の機械を操作しながらの稼働が出来上がっています。弊社の場合、職人さんだけしか印刷ができない状況を軽オフの時に経験をしておりましたので、オンデマンド機では現在3名が操作できる体制にしています。

社員さんからは事前に特色(DIC)を指定していてもプリント時に若干色ズレが起こることへの意見が出ています。近い色に合わせていくためにも、設定時での慣れが必要なのと機械の特徴をさらに知る必要があるとの意見もあります。

私自身も操作はしておりますが、軽オフからオンデマンド機に切り替えても特色の仕事を変わず出来ています。ここが一番の心配だったのですが、これは弊社が柔軟性(許容範囲)と考え方の変化(我々の考えではなくお客さんがどう思うか?)によって、少しずつ変化させていくことで問題は解決できるのではないかと考えております。

こんな時「あなたならどうする♪」の感想またはご自身の体験談をジャグラ広報委員会まで edit@jagra.or.jp

スペース21 全国交流キャラバン in 四国

ジャグラ徳島県支部 (有)八木印刷所 八木太郎です。
2024年2月3日、スペース21全国交流キャラバンが徳島で開催されました。

みなさん、スペース21全国交流キャラバンってご存じですか? 「え? なにそれ?」と思ったあなたに詳しく説明したいところですが、紙面が足りないの端に申し上げますと、次代の担い手が集まり、自己研鑽に励む素晴らしい取り組みが全国交流キャラバンなのです! ではどんな会だったか? もう少し読み進めてみてください。

1 目 セミナー & 会社見学 12:30 ~ 14:00

徳島県の企業でタクシー業界のDX化を推し進めている(株)電脳交通 代表取締役 近藤洋祐氏を講師としてお招きし、タクシー業界がデジタル時代に果敢に挑戦している様子が伝えられました。

お客様とドライバーを繋ぐプラットフォームを自社で開発し、そのサービスを全国へ提供することにより乗客の取りこぼしを防止、地域の交通事業者が売上を確保できる仕組みをITの力で作り上げたこと。自社の繁栄だけではなく

共存共栄の精神で業界を牽引する姿に感銘を受けました。



1 目 座談会 15:00 ~ 17:00

続きましては私、八木太郎仕切りによる座談会でした。参加者には徳島名物金ちゃんヌードルが配られ、食べながら座談会が始まりました。みなさんの貴重なお時間を2時間ばかり頂戴したものの、これがまた盛大にズッコケまして、何を話したかと言うと…。

自身が経営に向き合っていなかった不甲斐なさやジャグラメンバーとの出会いにより経営に前向きになったこと、そして印刷に全く関係のない倫理法人会入会の話です。ジャグラを含め経営者の集まる団体に所属し、学んだことを実践していくことで自分を取り巻く環境が変わってきたことをお話ししたつもりですが、実際は緊張しすぎて何を言ったかほとんど覚えていません。

一つ言いたいのは、やはり人と繋がるということの大切さですね。ジャグラメンバーと交流を持ったのは5、6年前でしょうか? それまで会社で引きこもっていた僕は自社の業績が年々悪くなる一方、どうしていいかわからず、無能さを悟られるのが怖くて自分の殻に閉じこもっていました。

そんな折、ジャグラ高知県支部のメンバーと触れ合う機会がありました。率直な感想は「まぶしかった」です。そこには「経営」がありました。成長・チャレンジに意欲的な姿が強烈に印象に残りました。大いに刺激を受けた僕はここでようやく自己革新の入り口に立ちます。

全国のジャグラのメンバーに会う=学ぶ(意識が経営に向く)これが縁を活かすということでしょうか。まず自分の心を成長させること。それが売り上げを創り出す第一歩! だご報告させていただきました。



1 目 懇親会 18:30 ~ 20:30

さて、お勉強の後は大いに弾けなくてはなりません。この日のために練りに練った至高のお料理をご用意させていただきましたd(>_<)

献立は私のホーム徳島県鳴門市の旬の地物です。生わかめしゃぶしゃぶ・あんかけれんこん饅頭・れんこんチップス・ぼらの煮つけ・うつぼの干物(焼)・鯛めし・わかめ出汁鯛めしぞうすい、以上7品。特に生わかめのしゃぶしゃぶはご当地でなければ中々お目にかかれぬ逸品です。これにはみなさん「にっこり」ご満悦でしたので、それだけわかれば十分でした。

騒ぎに騒いだ後は、二次会で鳴門のディープなナイトスポットへご案内。鳴門の魅力を十分に堪能していただけたかと思えます。



最後になりましたが、無事大会が終わり“ほっと”しています。引き受けた当初は1人でも簡単にできると思っていたのですが、まったくそんなことはなくかなり追い詰められ、正直参りました(^_^)

でも、みなさんと過ごせた時間は本当に素晴らしいものでした。多くの方々にご協力いただき充実した会になったと思います。ご参加いただいたみなさまに心より感謝申し上げます。次なる活動も楽しみにしております。

(報告: ジャグラ徳島県支部 (有)八木印刷所 八木太郎)



2 目 酒蔵・醤油蔵ツアー 10:00 ~ 12:00

鳴門市が誇る創業200年を超える松浦酒造と福寿醤油へご案内させていただきました。

非常に歴史を感じることができる建造物もさることながら、杜氏自らアテンドいただき、目と耳と匂いで歴史を堪能しました。メンバーもお酒の試飲、醤油の試食をたっぷりさせてもらい、ついでに鳴門へお金を落とさせていただきました。経済活動とお接待を両立し、我ながら「いいセンスしとる」と自惚れていたのはここだけの話です(笑)



生産性向上を目指す皆様へ

令和5年12月
時点版

「IT導入補助金」でIT導入・DX (デジタルトランスフォーメーション) による生産性向上を支援!

- 業務の効率化やDXの推進、セキュリティ対策に向けたITツール等の導入費用を支援!
- インボイス対応に活用可能! 安価なITツールの導入にも活用可能で、小規模事業者は最大4/5補助!
- 補助額は最大450万円/者、補助率は1/2~4/5!

通常枠

- 生産性の向上に資するITツール (ソフトウェア、サービス) の導入費用を支援します。
- クラウド利用料を最大2年分補助し、保守運用等の導入関連費用も支援します。

インボイス枠 インボイス対応類型

- 10月1日に開始されたインボイス制度への対応に特化した支援枠で、会計・受発注・決済ソフトに加え、PC・タブレット・レジ・券売機等のハードウェア導入費用も支援します。
- 小規模事業者は最大4/5補助し、補助下限は無く安価なITツール導入も支援します。

インボイス枠 電子取引類型

- 取引関係における発注者 (大企業を含む) が費用を負担してインボイス対応済の受発注ソフトを導入し、受注者である中小企業・小規模事業者等が無償で利用できるケースを支援します。

複数社連携IT導入枠

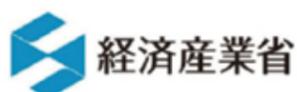
- 10者以上の中小企業・小規模事業者等が連携した、インボイス制度への対応やキャッシュレス決済を導入する取組等を支援します。連携のための事務費・専門家費も補助対象です。

セキュリティ対策推進枠

- 独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA) が公表する「サイバーセキュリティお助け隊サービスリスト」に掲載されているセキュリティサービスの利用料を支援します。

※詳細は裏面をご確認ください。

令和5年度補正予算で中小機構に措置



チラシのダウンロードはこちら↑

<詳細> (赤字は令和5年度補正予算での拡充点です)

枠/類型	通常枠		インボイス枠 (インボイス対応に活用可能!)				複数社連携IT導入枠	セキュリティ対策推進枠	
			電子取引類型	インボイス対応類型					
補助事業者	中小企業・小規模事業者等		大企業等	中小企業・小規模事業者等					
補助額	5万円~150万円未満	150万円~450万円以下	インボイス制度に対応した受発注ソフト ~350万円	インボイス制度に対応した会計・受発注・決済ソフト 50万円以下	PC・タブレット等 50万円超~350万円	レジ・券売機等 ~10万円 ~20万円	(1)インボイス枠インボイス対応類型の対象経費 (左記同様) (2)消費動向等分析経費 ^(※1) (上記(1)以外の経費) 50万円×参画事業者数 補助上限: (1)+(2)で3,000万円 (3)事務費・専門家費 補助上限: 200万円	5万円~100万円	
補助率	1/2		2/3	1/2	4/5、3/4 ^(※2)	2/3 ^(※3)	1/2	(1)インボイス枠インボイス対応類型と同様 (2)・(3) 2/3	1/2
補助対象経費	ソフトウェア購入費、クラウド利用料 (最大2年分)、導入関連費		クラウド利用料 (最大2年分)	ソフトウェア購入費、クラウド利用料 (最大2年分)、導入関連費、ハードウェア購入費				サイバーセキュリティサービス利用料 (最大2年分) ^(※4)	

(※1)消費動向等分析経費のクラウド利用料は、1年分が補助対象。
 (※2)小規模事業者については補助率は4/5。中小企業については補助率は3/4。
 (※3)補助額50万円超の際の補助率は、補助額のうち50万円以下については3/4 (小規模事業者は4/5)、50万円超については2/3。
 (※4) (独) 情報処理推進機構 (IPA) 「サイバーセキュリティお助け隊サービスリスト」に掲載されたサービス

<活用例>

インボイス枠

- インボイス発行の手間を効率化するため、「会計ツール」を導入。経理担当が手作業で行っていた出納管理が自動化され、バックオフィスの効率が全体的に向上。

通常枠

- タイムカードによる勤怠管理のため、本社出勤後の現場移動、帰社後の帰宅が必要であったところ、「勤怠・労務管理ツール」の導入により出先からの打刻が可能に。これにより、残業時間が3割削減、人事担当の作業効率も大幅アップ!

<今後のスケジュール>

- 通常枠、セキュリティ対策推進枠、インボイス枠 (電子取引類型)
 - 第1次締切 3月15日 (予定)
 - 第2次締切 4月15日 (予定)
 - 第3次締切 5月20日 (予定)

- インボイス枠 (インボイス対応類型)
 - 第1次締切 3月15日 (予定)
 - 第2次締切 3月29日 (予定)
 - 第3次締切 4月15日 (予定)
 - 第4次締切 4月30日 (予定)
 - 第5次締切 5月20日 (予定)

- 複数社連携IT導入枠
 - 第1次締切 4月15日 (予定)

※準備が整い次第、速やかに公募を開始。詳しくは、事務局ポータルサイトをご確認ください。

サービス等生産性向上IT導入支援事業事務局ポータルサイト



応募方法等の詳細はこちらからご確認ください

業界の動き

展示会

ショーウ新春フェア開催 海外市場や最新のトレンド紹介する講演会も ショーウ

株式会社ショーウならびに SHOWA 会は 2 月 8 日、9 日の両日、東京・神田の本社ショールーム、4 階特設会場で、「ショーウ新春フェア 2024」を開催しました。

×

新春フェアでは、コニカミノルタジャパンの AccurioPress C4080 やリコージャパンの RICOH Pro C7500 をはじめ、コンパクトな加工機器、MIS、バリアブル印刷ソフトなどが紹介されました。

また、8 日 14 時から、ホリゾン・ジャパンの寺村和浩氏が「今どうなっている！北米印刷市場」をテーマに講演。アメリカ市場の現状と動向に加えて、同社の海外ユーザーレポートを披露しました。

9 日 14 時からは、ライター・レイターの山下潤一郎氏を講師に迎え、「生成系 AI・自動化による、コスパ・タイパの向上」をテーマに、生成系 AI や自動化がもたらすコスト効率と生産性向上の可能性について解説しました。



講演会で挨拶する SHOWA 会の米原会長



講演するホリゾン・寺村様



ショーウ新春フェア会場

展示会

page2024 に出展 印刷革新会、JPA と連携 ジャグラ

公益社団法人日本印刷技術協会 (JAGAT) 主催の page2024 が 2 月 14 日から 16 日までの 3 日間、東京・池袋のサンシャインシティコンベンションセンター展示ホールで開催されました。ジャグラは今回、印刷革新会と学校法人日本プリンティングアカデミー (JPA) と共同で出展しました。

×

ブースでは、印刷革新会のプレゼンテーションのあと、ジャグラ、JPA ブースへと誘導するアナウンスがあり、ジャグラブースではジャグラ BB を通じて本部活動を PR。また、広報委員会がリリースした、ジャグラ公式アプリを紹介しました。



開会式



ジャグラブース

ジャグラ

中央会補助金・成果普及講習会を開催 ジャグラコンパスの機能、UI などを披露 地域活性化委員会

地域活性化委員会は 2 月 15 日、東京・池袋のサンシャインシティコンベンションセンターのコンファレンスルームで、全国中小企業団体中央会の組合等ネットワークシステム等開発事業に採択されて、開発を進めてきた「ジャグラコンパス セーフティーカード」の成果普及講習会をハイブリッド形式で開催しました。

×

当日は、会議室・Zoom 併せて 50 名ほどが参加。ジャグラ・岡本泰会長の挨拶に続き、地域活性化委員会の齋藤秀勝委員長が、今回の開発に至った経緯や、ジャグラコンパス セーフティーカードのシステム概要、ビジネスモデルなどについて説明しました。

本システムの詳細につきましては、6 月に開催されますジャグラ文化典広島大会でもご紹介する予定です。

事務局日誌と 今後の予定

最新情報は HP でご確認ください

2月の事務局日誌

- 1 日 年賀状デザインコンテスト委員会 (本部)
日印産連知財部会→田中専務
- 2 日 P マーク現地審査 (東京) →並木事務局長、今田
- 3 日 SPACE-21 全国交流キャラバン (徳島)
- 5 日 地域活性化委員会 (Web 会議)
- 6 日 広報委員会 (Web 会議)
- 7 日 サステナブルセミナー (ハイブリッド)
- 13 日 DTP 教室運営委員会 (Web 会議)
- 14 日 page2024 開会式→岡本会長
- 15 日 ジャグラコンパス成果報告会 (サンシャイン会議室)
ジャグラコンテスト委員会 (本部)
- 19 日 業態進化委員会 (Web 会議)
- 20 日 MIS 研究委員会 (Web 会議)
作品展委員会 (Web 会議)
- 21 日 生産性向上委員会 (Web 会議)
- 22 日 モリサワ協賛セミナー (Web)
- 26 日 年賀状デザインコンテスト委員会 (Web 会議)
- 27 日 正副会長会議 (Web 会議)
SPACE-21 幹事会 (Web 会議)
- 28 日 P マーク現地審査 (神奈川) →今田、長野
地域活性化委員会 (Web 会議)
ランドデザインプロジェクト→田中専務
- 29 日 サステナブル委員会
環境マネジメント部会

3月のスケジュール

- 4 日 業態進化委員会 MA 部会セミナー (Web)
- 5 日 広報委員会 (Web 会議)
- 7 日 日印産連労働安全衛生部会→田中専務
- 8 日 作品展委員会
東京グラフィックス理事会→田中専務
- 11 日 日印産連知財部会 (印刷会館) →田中専務
- 12 日 DTP 教室運営委員会 (Web 会議)
- 13 日 P マーク審査会・個人情報保護委員会 (本部)
日印産連・ステコミ→田中専務
MIS 研究委員会 (Web 会議)
- 19 日 業態進化委員会 (Web 会議)
SPACE-21 幹事会 (Web 会議)
- 21 日 地域活性化委員会
- 22 日 理事会 (ハイブリッド)
- 25 日 ジャグラコンテスト委員会 (Web 会議)

4月のスケジュール

- 10 日 ジャグラ作品展第一次・第二次審査会 (本部)
- 12 日 DTP 教室運営委員会文字組版セミナー (大阪) →長野
- 19 日 SPACE-21 総会 (滋賀) →今田
- 23 日 ジャグラ作品展最終審査会
- 24 日 生産性向上委員会 (Web 会議)
- 25 日 P マーク審査会・個人情報保護委員会 (本部)
- 26 日 正副会長会議 (Web 会議)

事・務・局・便・り

卒業の季節がやってきました。我が家は小学 6 年生の息子が卒業を迎えます。先日、小学校の卒業式よりひと足先に、息子が所属する少年野球チームの卒部式が執り行われたのですが、監督をはじめ、感極まって涙を流す男性の姿が多かったことが印象的でした。私をはじめ卒部生の母は、自分自身がお茶当番やお弁当作りから「卒業」できる喜びからか、意外と涙する方が少なかったのも印象的でした (笑) 同期卒部生の多くは、中学に進学しても野球を続けるため、すでにクラブチームに入会していますが、我が息子は中学校の部活動で卓球かテニスをやりたいそうです。どんな中学校生活を送るか、今から非常に楽しみです。(阿部)

※「事務局便り」は本部事務局員が交替で執筆しています

月刊「グラフィックサービス」868号

■発行日 令和 6 年 3 月 10 日 (毎月 1 回)
■発行人 岡本 泰
■編集人 本村 豪経
■発行所
一般社団法人
日本グラフィックサービス工業会 略称ジャグラ
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 7-16
電話 03-3667-2271 ファクス 03-3661-9006
ウェブ <https://www.jagra.or.jp/>

ジャグラは一般財団法人日本情報経済社会推進協会指定のプライバシーマーク指定審査機関です

■編集部宛メール edit@jagra.or.jp

◎企画: ジャグラ広報委員会

担当理事
神山 明彦 愛知・(株)カミヤマ / 副会長
委員長
本村 豪経 福岡 / アイメディア(株) / 理事
委員

東海林正豊	秋田 / (株)東海林印刷
谷山 和也	東京 / 菁文堂(株)
野口 聡	東京 / (株)アクティブ
小澤孝一郎	山梨 / (株)オズプリンティング
安達 睦男	大分 / (有)舞鶴孔版
瀬尾 淳	広島 / (株)広瀬印刷
三宮 健司	高知 / (有)三宮印刷
佐藤 愛子	大分 / (株)クリエイツ.
西谷 毅	東京・文京
松谷 勝広	東京・文京
笹井 靖夫	東京・文京
田中 良平	専務理事
影山 史枝	外部委員 / (株)スイッチ

◎原稿・編集・校正
田中 良平 並木 清乃 阿部奈津子
今田 豪 長野未奈美 岩崎 琴美
以上、ジャグラ事務局

◎渉外 田中 良平 並木 清乃
◎広告 田中 良平
◎Web 阿部奈津子
◎動画 今田 豪

◎組版 (株)クリエイツ.
DTP = Adobe CC ほか
フォント = モリサワ OTF / モリサワ BIZ+ ほか

UD FONT by MORISAWA
※本誌の一部にユニバーサルデザインフォントを使用しています

◎製版 / 印刷 (有)西村謄写堂 (高知・高知支部)
R I P = FUJIFILM WORKFLOW xmf
C T P = Luxel T-6300 (自現:富士フィルム XP-1310R)
刷 版 = FUJIFILM SURERIA XP-F
印刷機 = RYOBI 924D
インキ = 東洋インキ
用 紙 = 三菱ニューVマット A判 57.5kg

Copyright 2024 JaGra
禁無断引用
※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です
原則、TM や ® マークは省略しています
※乱丁 / 落丁本はお取り替えいたします

